

トピックス

健全度診断用計測システム「IMPACT IV」の加速度計（無線タイプ）

鉄道総研では、2013年1月から販売を開始した橋梁下部工・土留め擁壁健全度診断用計測システム「IMPACT IV」で使用できる無線タイプの加速度計を新たに開発し、販売を開始しました。

新たに開発した加速度計（無線）は、これまでのIMPACT IIIの機能を有しながら、動作時間や通信距離が改善されています。「IMPACT IV」のセンサーには、加速度計（無線）のほかに、加速度計（光ファイバー）、加速度計（有線）を選択できます。加速度計（光ファイバー）は、計測器に電源が不要で、長距離・長期間のモニタリングが可能です。「IMPACT IV」では、衝撃振動試験に用いる振動発生器具として、従来の重錘に加えて小形起振器を選択できます。小型起振器は重錘よりも可搬性がよく、再現性の高い振動試験が可能です。また、既存センサー（IMPACT IまたはIMPACT III）をお持ちのユーザーは、追加機器をご購入のうえ別途費用をご負担いただきますと、計測プログラムを「IMPACT IV」バージョンにアップグレードすることが可能で、既存センサーを有効にご活用いただけます。これまでIMPACT IまたはIMPACT IIIにて計測したデータも表示できます。

検査現場や工事現場などで、ぜひご活用ください。
なお、本システムは、長野計器株式会社との共同開発です。

【販売に関するお問い合わせ先】

公益財団法人鉄道総合技術研究所 事業推進室 営業
〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38
TEL：042-573-7232 / FAX：042-573-7231
E-mail：sales@rtri.or.jp



「IMPACT IV」
加速度計（無線）の外観

「IMPACT IV」
加速度計（無線）の仕様

測定範囲	Low ± 200gal
	High ± 3,920gal
動作時間	6.5h（常温）
	5h（-10℃）
通信距離	60m 以内推奨 最大 120m ※
重量	1,047g
保護等級	IP64

※障害物のない通信テストでの最大値